

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東大阪市新障害児者支援拠	階数	地上5階、塔屋1階
建設地	大阪府東大阪市菱江5丁目101-3 他	構造	RC造
用途地域	第1種住居、第2種住居地域、法第22	平均居住人員	598 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2014年11月7日
敷地面積	4,695 m ²	作成者	㈱大建設 菅野尚教
建築面積	2,476 m ²	確認日	2014年11月10日
延床面積	8,161 m ²	確認者	㈱大建設 菅野尚教

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 24%
③上記+②以外の 24%
④上記+ 24%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.3

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	市域に住む障がいをお持ちの方を幼児から大人まで一貫して支援する施設。市、地域との共生を目指し、環境への配慮も行っている。	
Q1 室内環境	遮熱効果の高いガラス材をするなど、空調負荷の低減に配慮している。	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	省エネルギー機器の採用に加え、トップライトおよびソーラーパネルの利用等も行っている。	Q3 室外環境(敷地内)
		可能な限り緑化に努め、周辺環境との調和を図っている。
		LR2 資源・マテリアル
	環境を破壊しない資源利用(化学物質・冷媒等)を行っている。	LR3 敷地外環境
		周辺地域・環境に対しての影響(騒音振動・悪臭など)を抑える計画を行い、特に雨水流出抑制については基準以上の対策を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)東大阪市新障害児者支援拠点施設		
	建設地	大阪府東大阪市菱江5丁目101-3 他7筆		
	用途/区分	病院		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			5
	省エネ対策			4
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	5.0	5
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊 3.0	4
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.5	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.5	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
	太陽光パネル	太陽光発電による自然エネルギー利用		
特に配慮した事項				